

熱中小学校シアトル校・JapanFair 訪問事業報告

とっとり琴浦熱中小学校シアトル訪問団 団長 松浦周治
団員 幅田佐美子
小泉 傑
桑本賢治

- 訪問者 とっとり琴浦熱中小学校 第2期生徒4名
(当初は5名参加予定でしたが、1名が急用のため4名での訪問)
- 訪問目的 熱中小学校シアトル校の授業及び第1期終了式に参加し、現地の生徒や先生、スタッフ等との交流を図る。また、シアトル校の会場である「ベルビュー・チルドレンズ・アカデミー(BCA)」の教育方針を視察するとともに、マイクロソフト社など世界的企業を訪問し現状を学ぶ。同時期に開催されたジャパンフェアの熱中小学校専用ブースでは、現地関係者や市民等との友好親善、相互理解の機会とするため積極的に交流するとともに、琴浦町の物産を紹介し町のPRを行う。
- 訪問先 アメリカ合衆国ワシントン州 シアトル市及びベルビュー市
- 訪問日 令和元年6月27日(木)～7月2日(火)
- 訪問行程

6月27日(木)

成田空港で全国の熱中小学校からの参加者と合流し、シアトルへ出発。

同日、シアトル空港着。熱中小学校シアトル校の会場となるBCA校へ。清水校長からBCA校の教育方針、教育プログラムについて説明を受け、意見交換を行いました。

【BCA校について】

17年前に10人で始めた私塾が、今や幼稚部から中高等部まで700名の生徒を有し、隣接するマイクロソフト社関係者の子どもたちが多数通う有力私学へ成長。清水校長が自ら開発した日本語のひらがな学習と同じシステムで英語を読める独自のテキスト等による授業を実施し、BCA校の生徒は他校の生徒より2学年以上も上の学習レベルの結果が出ているとのことでした。また、幼少期からICTやロボットに触れて使いこなし、タイピングやプログラミングも導入、知識を教える教育から新しいものをデザインし生み出す教育を実践していました。



BCA校外観

さらに、通常の授業とは別に週に一度、土曜学校を開いており、ここでは日本語・日本文化を総合的に学ぶことができるカリキュラムとなっていました。

すでに日本の学校との交流も行っているとのことであり、琴浦町の子どもたちも、この学校との交流を行うことにより、英語能力を含めたグローバルな視点を養えたら、町にとって貴重な財産になると感じました。



清水校長からの説明



テキストの紹介

6月28日（金）

午前：シアトル熱中小学校生徒のガイドによりシアトル市内を視察しました。シアトルは現代的なビルが立ち並び、現在も次々と建設中でクレーンがあちこちに見られました。マイクロソフト、アマゾン、スターバックス、コストコなどいま世界で注目の企業が本社機能を置き、活気に溢れる町でした。

マイクロソフト本社ビル群はキャンパスと呼ばれ広大な地に125の建物が点在、専用シャトルがキャンパス間を循環していました。社員は若く中国やインドからも多く就業し、フレックスタイム制だが成果をあげるため遅くまでよく働くとのことでした。

午後：ベルビュー市のジャパンフェア会場へ集合し、他校のスタッフとともに熱中小学校特設ブースの準備を行いました。



6月29日（土）、30日（日）

2日間にわたりジャパンフェアが開催され、交代でフェア会場のブース当番とシアトル校の授業受講、シアトル市内自由行動を行いました。

フェア会場では、熱中小学校のほか、60以上の日本文化財団や日本関連企業が、茶道、華道、書道、武道、和太鼓、舞踊、着物着付け等のレクチャーやデモ、展示等を行っていました。

熱中小学校は全国12校の熱中小学校から民芸、工芸品を中心に展示し販売。

琴浦町からは㈱ヘイセイのあごだしパックと瑞光明（有）制作の和紙小箱に町のPRカードを入れて配布し町のPRをしましたが、好評でした。



今回開催されたジャパンフェアは、2日間で約20,000人以上もの来場者があり、来場された現地の方々とは片言の英語で会話をしたり日本について紹介したり、また他校のスタッフとも一緒にブースに立ちながら大いに交流できました。

シアトル校では第1期最後の授業として、2日間で9コマの授業が公開され、ジャパンフェアのブース当番と調整しながら交代で、シアトル校の生徒と一緒に授業を受けました。



ジャパンフェアの会場で



シアトル校の授業に参加

市内観光での移動ではUber（ウーバー、個人タクシーのようなライドシェアの仕組み）を体験。大変便利で料金も安く、運転手も丁寧な対応でした。シアトルでは一般的な移動手段となっており、その便利さと気軽さには目からウロコで、琴浦町の中山間地域においても、このような仕組みが検討できないか町に提言を行いました。



ウーバー、便利です！

7月1日（月） シアトル空港へ向けて移動（帰国の途へ）

7月2日（火） 成田空港到着～米子空港～帰町

【訪問を終えて】

今回、BCA 校を訪問し、その教育方針やカリキュラムについて大変関心し、琴浦町においても町内小中学生の派遣などを検討してはどうかと感じました。若いうちに体験することで視野を広げ、英語をはじめとした学習意欲を高める機会となるのではと感じるとともに、熱中小学校の生徒としても、シアトル校を核とした海外との友好親善活動を検討したいと感じました。

また今回、全国12校から70名余りの生徒やスタッフ、熱中小学校の講師陣が参加し、ジャパンフェアやシアトル校の授業などで昼夜を問わず交流を深めることができ、連帯感が一層深まりました。このつながりが熱中小学校の魅力の一つです。帰国後もSNSなどで交流が続いており、全国でのネットワークを生かして他の学校の授業に参加して交流、まちを巡ってその町との関わりを深めていく、「関係人口」増の取組にもつながると感じ、今後も他校との交流や連携を図るための企画や提案をしていこうと考えています。

